



令和8年度 学校だより

天王丘



令和8年4月30日(木)

第2号

観音寺市立栞田小学校
発行

長
子
配
付

1年生を迎える会 ～やさしさが受け継がれる時間～

4月28日(火)、「1年生を迎える会」が行われました。この会は、入学した1年生が上級生とふれ合い、楽しいひとときを過ごすとともに、子どもたち同士がかかわり方を考え、交流を深めることを目的としています。会の中心となったのは、児童会役員の子どもたちです。本番に向けて、司会進行や声かけの練習を何度も重ねてきました。当日は、はっきりとした声と落ち着いた態度で会を進め、体育館全体をあたたかい雰囲気包んでくれました。



会の中には、栞田小学校のキャラクター「くにたん」と「くにぼん」も登場しました。2人は、運動場の大きなクスノキに住む妖精で、子どもたちをいつも見守り、応援してくれる存在です。児童会役員の工夫による演出に、1年生も自然と笑顔になり、会場は一層なごやかな空気に包まれました。

会場の飾りつけや準備は、6年生みんなで行いました。また、ふれ合いゲームでは、ペアになった1年生のそばに寄り添い、歩く速さを合わせたり、優しく声をかけたりしながら活動する姿が見られました。1年生を楽しませよう、安心させようとするその姿に、最上級生としての頼もしさを感じました。

〇×クイズでは全校生が大いに盛り上がり、猛獣狩りゲームでは、学年をこえてグループをつくり、自己紹介をし合いました。体育館のあちらこちらに笑顔が広がり、その中心には、いつも1年生のうれしそうな表情がありました。

毎年行われる行事ですが、今年の1年生を迎える会には、栞田小学校が大切にしてきた「温かいかわり」が、確かに表れていました。上級生の子どもたちは、自分が1年生だったころ、優しく声をかけてもらったこと、手を引いてもらったことを、どこかで思い出していたのかもかもしれません。

やさしさは、特別な言葉だけで伝わるものではありません。そっと寄り添う姿、相手に合わせて歩く姿、楽しませようと工夫する姿の中で、自然に受け継がれていきます。

1年生を迎える会は、1年生にとって学校がもっと好きになる時間であり、上級生にとっては、自分たちの成長に気づく時間でもありました。このあたたかなかわりを、これからの学校生活の中でも大切に育てていきたいと思えます。

